

競技注意事項

1 規則

本大会は、2024年度(財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によって行う。但し、競技運営、施設等の条件により、代表者の話し合いによって変更することもある。

2 競技場及び練習会場

- (1) 主競技場の競走路及び助走路は全天候型である。スパイクピンの長さは9mm以内とする。また、スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するようなものとする。
- (2) 練習は球技場(半面)で行う。又、競技に支障のない範囲で競技場内で行うことができる。その場合は係員や放送の指示に従うこと。(バックストレートの逆走は厳禁とする)

3 招集

- (1) 招集完了時間・・・トラック競技15分前
フィールド競技40分前(棒高跳は60分前)
- (2) 招集場所・・・トラック競技：スタート地点
フィールド競技：競技場所

※ リレー競技については、フィニッシュ地点先の北倉庫前に所定の用紙を準備するので競技1時間前までに、走る順番他を書き込んで下さい。その後(1)(2)で招集を完了して下さい。

4 アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは胸と背に一枚ずつ確実につけること。アスリートビブスの大きさ、数字の大きさ、太さは基準を満たしたもの(TR5.7-TR5.11)を各団体で用意し使用すること。ただし、走高跳、棒高跳、走幅跳に出場する競技者は胸または背に一枚つけるだけで良い。

※配付される、中距離種目の腰アスリートビブスは、返却の必要はない。

5 競技について

- (1) トラック競技では、すべて写真判定装置を使用する。
- (2) 競技規則TR16.6~TR16.8により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (3) スターターの合図は英語とする。
- (4) 跳躍種目(除：走高跳・棒高跳)、投擲種目の試技は3回とする。
- (5) 選手のウォーミングアップは指定された場所で行うこと。
- (6) 選手は見苦しくない服装や言動で出場すること。
- (7) リレーで使用したマーク(テープ等)は出場チームが責任を持って除去すること。
- (8) 同時に複数種目に出場する場合は、審判員に申し出て指示を受けること。
- (9) 関係者から選手への携帯電話使用等、助力とみなされる行為・言動は、無いとすること。

6 跳躍競技のバーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。但し、雨天等の場合は変更もある。

	練習		最初の高さ								
	男子	女子									
走高跳	1.30										
	1.70	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	以後は3cm	
	1.10										
	1.50	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	以後は3cm	

※棒高跳のバーの上げ方は現地で検討する。

7 競技用具

- (1) 棒高跳のポールは各自が用意したものを主催者側が確認して使用できる。
- (2) 砲丸は原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (3) スターティングブロック、リレーのバトン主催者側で用意したものを使用する。

8 その他

- (1) 有観客で行う。但し、芝スタンドで観戦する場合は、競技場出入り口から、グラウンドレベルでの通行には、くれぐれも気をつけて移動すること。競技場内は、競技者・競技役員・補助員以外は、入場禁止とする。
- (2) 競技者は競技の進行に積極的に協力すること。
- (3) 貴重品は各自、各団体で責任を持って保管し、盗難・紛失などに十分注意すること。
- (4) 荒天等により出場者が減った場合はプログラムを変更する場合がある。
- (5) 大会出場中の映像、写真、記事、新聞、インターネット等の掲載権は主催者に属する。
- (6) 公園内につき禁煙とする。
- (7) ゴミの処理は各自責任をもって行い、必ず持ち帰るようにすること。
- (8) 管理棟内は、競技役員・補助員以外出入り禁止とする。
- (9) 大会参加に際して提供される個人情報本記録会に利用するものとする。
- (10) 競技結果については、埼玉陸協速報ページをご確認下さい。
- (11) 公認記録証を希望される方は、受付（会議室）に申し出ること。1部300円。
- (12) 競技役員・補助員以外のフィニッシュ付近の立入り通過を禁止とする。（緊急時除く）

開	場	7 : 10
受	付	7 : 20～
役	員打合	7 : 45